

予 算 要 求 資 料

令和 8 年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

事業名 全国高等学校ビブリオバトル岐阜県大会開催費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

観光文化スポーツ部 文化伝承課 教育文化係 電話番号：058-272-1111(内3142)

E-mail：c11148@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 382 千円 (前年度予算額： 382 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	382	0	0	0	0	0	0	0	382
要求額	382	0	0	0	0	0	0	0	382
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

令和 7 年 3 月に策定した「岐阜県子どもの読書活動推進計画(第五次)」にもとづく子ども(おおむね 18 歳未満)の読書活動を推進する事業として、特に不読率(1か月に1冊も本を読まない子どもの割合)が高い高校生を対象としたビブリオバトルの大会を実施し、不読率引き下げの一助とする。

(2) 事業内容

- ア ビブリオバトル事前講習会
- ・高校生、教職員を対象に事前講習会を開催。
- イ 高等学校ビブリオバトル県大会
- ・全国大会の予選となる県大会を開催。優勝者は全国大会に出場。

(3) 県負担・補助率の考え方

県10/10

高校生に対する読書活動の推進を県として実施するために必要な経費である。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
人件費	60	県大会講師、事前講習会講師報償費
旅費	88	費用弁償、業務旅費
需用費	150	消耗品費、会議費、印刷製本費
役務費	75	送料、筆耕料
その他	9	会場使用料
合計	382	

決定額の考え方

--

4 参 考 事 項

(1) 各種計画での位置づけ

○「岐阜県子どもの読書活動推進計画（第五次）」の「基本方針4 読書から生まれた自分の考えを表現する機会の提供（1）子どもが参加できる読書に関するコンクール等の普及、活動の場、情報交流の場の提供」

○「第4次岐阜県教育振興基本計画」の施策Ⅰ「豊かな人間性の育成」「1 多様な人とつながり、関わる力の向上と心の教育の充実」における主な取組「⑥読書活動の推進」

(2) 国・他県の状況

○国の「第五次子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」

「第4章 子どもの読書活動の推進方策 5 子どもの読書への関心を高める取組」で、取組として「書評合戦（ビブリオバトル）」が例示。

○高校生の読書活動の現状について

・国の「第五次子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」

「第1章 近年における子どもの読書活動に関する状況等 Ⅲ 子どもの読書活動の現状」で、令和4年度の高校生の不読率は51.1%であり、第四次計画に掲げた26%以下にする数値目標までの改善が図られなかったとの記載。

・（社）全国学校図書館協議会ほかの「第69回学校読書調査」

高校生の不読率は48.3%（令和6年6月調査。小学生8.5%、中学生23.4%）

○全国大会の予選となる地方大会は全都道府県で開催（令和6年度）

事業評価調書（県単独補助金除く）

☐ 新規要求事業

☒ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

読書に関心がない高校生が、ビブリオバトルに参加することにより、読書に親しみ、読書活動を通じて自分の考えを表現できるよう育成したい。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R5年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R 10)	達成率
ビブリオバトル 実施高等学校数		12校	14校	15校	17校	71%

（これまでの取組内容と成果）

令和 4 年度	<p>○ビブリオバトル講習会（2回開催（うち1回オンライン）・参加者44名） 新型コロナウイルス感染症対策のため、学校会場とオンラインで実施。</p> <p>○全国高等学校ビブリオバトル岐阜県大会（発表者14名、観戦者22名） 大会の様子は報道でも取り上げられ、ビブリオバトルが読書活動推進の行事として広がることが期待される。</p>
	指標① 目標：15校 実績：11校 達成率：73%（R3調査より）
令和 5 年度	<p>○ビブリオバトル講習会（2回開催・参加者195名） 学校からの希望により、「総合的な探究の時間」の時間を利用し、1学年を対象に体育館で1時間の授業として実施。</p> <p>○全国高等学校ビブリオバトル岐阜県大会（発表者24名、観戦者42名） 発表者の申込が多く、予選グループを増やして実施。ケーブルテレビによる特別番組も作成された。高校生以外にも読書活動推進の事業として広がることが期待される。</p>
	指標① 目標：15校 実績：12校 達成率：80%（R5調査より）
令和 6 年度	<p>○ビブリオバトル講習会（2回開催・参加者43名） 小規模校で全校を対象とした実施や、図書委員等の有志を対象に実施等、実施方法を工夫した。</p> <p>○全国高等学校ビブリオバトル岐阜県大会（発表者21名、観戦者52名） 国民文化祭の1事業として実施。他県主催者からも問い合わせあり。</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない	
(評価) 2	「岐阜県子どもの読書活動推進計画(第五次)」に基づき、県としても子どもの読書活動推進に積極的に取り組む必要がある。また、ビブリオバトルは国の基本計画でも普及が望まれている取組の一つである。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	ビブリオバトル事前講習会を受講した生徒の中には、他の参加者が紹介した本を読んでみたくなった生徒や、大会への参加を前向きに検討する生徒もあり、読書活動の推進の一助となった。 大会観戦者からは、読みたい本がたくさんあった、来年は発表者として参加したい、学校でもビブリオバトルを実施したい、という声が複数あり、読書活動推進の効果が見込まれる。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている	
(評価) 2	ビブリオバトル事前講習会を県内各地の学校で開催することにより、大会への参加や各学校での取組みの実施につなげている。学校の希望に応じて、授業内やオンラインでの開催等、開催方法も工夫している。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 高等学校ビブリオバトル岐阜県大会は少しずつ事業が浸透している状況である。読書活動推進の取組みとしてビブリオバトルをさらに広げるためには、継続的な開催が必要である。

(次年度の方角性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 読書活動推進の方策の一つとして高校生ビブリオバトルが浸透しつつあるため、今後も事業を継続する。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	「読書週間」中のイベントとして実施 【図書館】
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	「第3次岐阜県図書館の運営方針」4 中核図書館としての基盤強化と支援・連携 (5) 子どもの読書活動の支援